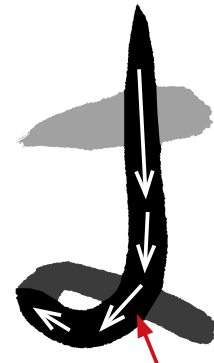


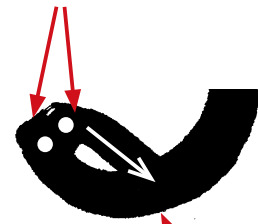
◎とめておわるせんにきをつけてかきましよう。

たてせんは、はや
めにななめになる



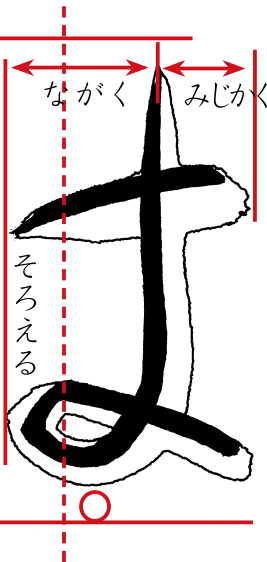
ここからな
なめ

かるくとまっ
てからすすむ



ななめのむき
にちゅうい

おなじむき

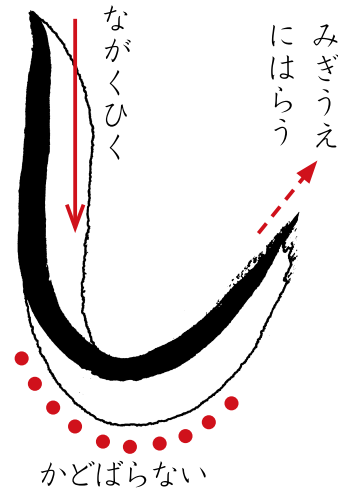


ながく みじかく

そろえる

ふくらませる

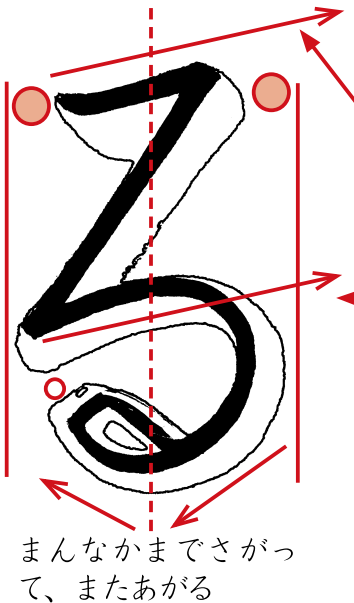
小



ながくひく
みぎうえ
にはらう

かどばらない

なまえはおおきさにもきをつけ
て、このあたりにかきます



まんなかまでさがっ
て、またあがる

ふではたつぷりすみをつけ、
ほさきのすみをとりながらほをととのえ
てかきます。

毛筆規定課題 評価の観点 《小1》 大平恵理 書

第10回全国書写書道総合大会 令和3年度全国学生書写書道展

主催 一般社団法人 日本書字文化協会 共催 公益財団法人 文字・活字文化推進機構